



2022年1月20日

各位

会社名 株式会社テラスカイ
代表者名 代表取締役社長 佐藤 秀哉
(コード：3915 東証第一部)
問合せ先 取締役最高財務責任者 塚田 耕一郎
(TEL. 03-5255-3410)

連結子会社である株式会社BeeXの上場承認に関するお知らせ

本日、株式会社東京証券取引所より、当社の連結子会社である株式会社BeeX（本社：東京都中央区、代表取締役社長：広木太、以下「BeeX」）の東京証券取引所マザーズ市場への新規上場が承認されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 当社グループにおけるBeeXの位置付け

当社グループは、クラウド・インテグレーションとシステム連携をキーワードに、最先端のテクノロジーを活用したソリューションとクラウド製品を提供しています。

BeeXは、お客様のDX（デジタルトランスフォーメーション）による未来を共に実現する、クラウドテクノロジーのプロフェッショナル集団です。当社グループにおいてはAWS事業を担っており、又、SAPを中心とした基幹システムのクラウド・マイグレーション（システムの基盤環境をオンプレミスからクラウドに移行するための一連の業務の提供）を行っております。

2. 上場の目的

昨今の企業によるパブリッククラウドの利用の加速により、クラウド・マイグレーションのニーズはますます増大していくと予想されております。BeeXは、テクノロジー・プロフェッショナル集団として、増大するクラウド・マイグレーションのニーズに対応することでお客様の課題解決を目指しております。

BeeXが東京証券取引所マザーズ市場に上場することで、ガバナンス体制の構築や資金調達手段の多様化および優秀な人材の確保につながり、中長期にわたる継続的な事業拡大が期待でき、結果として当社グループの企業価値向上に資するものと判断しております。

3. 当社の株式保有方針について

本上場に伴う新株式発行により、当社の株式所有割合は現在の78.2%から69.6%へ低下することとなりますが、上場後も当面の間はBeeXを連結子会社とする株式保有比率を維持していく予定です。

当社は「一歩先ゆく確かな技術で、もっとも信頼されるパートナーに」というビジョンの下、グループ各社が協力しワンストップで最高のクラウドサービスを提供することで、お客様の信頼を獲得し、結果としての利益創出を通じたグループ企業価値の向上を目指しております。その手段の一つとして、少数株主に対する適切な利益還元が可能と見込まれる子会社については、上場を維持する方針です。

本上場後は更なる独立性が求められることから、当社では今後より一層BeeXの独立性を尊重し、自律的な経営を行うことを支持してまいります。

今後、グロース市場で求められる流通株式比率の新基準への対応に関しましては、当社からの株式の売出しを含む方法を検討して充足を図る方針です。

尚、現時点において、BeeX以外の親子上場の予定はありません。

4. 連結子会社の概要

(1) 名称	株式会社BeeX
(2) 所在地	東京都中央区銀座7-14-13 日土地銀座ビル
(3) 設立年月日	2016年3月1日
(4) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 広木太
(5) 事業内容	クラウド関連の運用・保守・管理事業及びソフトウェア開発
(6) 資本金	10,971万円（2021年2月末現在）

5. 上場に伴う株式売り出しおよび募集株式発行に関する概要

- (1) 公募による募集株式の発行 240,000株
- (2) 引受人の買取引受による株式の売出し 75,000株
- (3) オーバーアロットメントによる株式売出し 47,200株 (上限)

6. 当社の所有株式数および割合

- (1) 現在の所有株式数 1,514,700株
(所有割合 78.2% 発行済株式数 1,937,400株)
- (2) 上場に伴う新株式発行後の所有株式数 1,514,700株
(所有割合 69.6% 予定発行済株式数 2,177,400株)

※発行済株式数および予定発行済株式数には、新株予約権による潜在株式数（353,400株）は含めておりません。また、予定発行済株式数には、オーバーアロットメントによる株式の売出しに関連する第三者割当増資分（47,200株（上限））も含めておりません。

7. 当社業績への影響について

本上場後も連結子会社を維持するため、本件が連結業績に与える影響は軽微となります。

以上